

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

2020 年度事業報告

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

I. 年間の活動のまとめ

依然として新型コロナウイルス感染症拡大への対策で振り回されているが、2020 年度は、どう対策するか、これからどれくらい感染が拡大するかといったことの情報が不十分なままスタートすることになった。杜の伝言板ゆるるとしては、法人化して以来、初めての代表理事の交代を迎える緊張感のある一年となった。

事業では、2005 年 4 月より担ってきた「みやぎ NPO プラザ」の指定管理者として第 5 期目の 2 年目を担ったが、新型コロナウイルス感染の拡大防止に伴う活動自粛に対し、適切な対応のなか、最大限の場の提供を行うことができたのではないかと考えている。また、このような状況において必要となる NPO 関連情報の提供にも努めたところである。

事業としては、コロナ禍で中間支援組織の連携により調査を 2020 年の 3 月に実施したが、それをもとに、専門家の支援を NPO が必要としていることを宮城県や仙台市に提言し、専門家の支援を受けるための支援の提供が必要であるという提言を行った。その結果、補助事業を設けていただくことができ、その資金を用い、NPO への支援を行った。支援先の数は多数には至らなかったが、市民社会を構築する NPO の支援を行うという中間支援の役割を考えるひとつの契機であったと考えている。

継続事業の「高校生の NPO で夏ボラ体験」は、新型コロナウイルスの影響により中止することとなったが、その期間を用いて、過去 17 年間の参加者に対するプログラムの長期的なインパクトを検証する調査を実施し、高校生のその後の進路や就職に大きな影響を及ぼしていることを明らかにすることができた。

その他の事業についても、以下で説明をしているが、河北新報「志民の輪」を通じた情報提供や「季刊ゆるる」、宮城県委託事業の絆力を活かした震災復興支援事業での報告書や交流会などで多くの情報発信を行うことができた一年であった。また、NPO の経営基盤支援を行うための体制づくりについては課題を明らかにすることができた。2021 年度に取り組む課題としている。

Ⅱ. 活動に関する事項

1. 情報収集と提供

(1) 河北新報夕刊「志民の輪」の執筆、監修

2019年4月1日から仙台市を中心として配達されている河北新報夕刊月曜版に「志民の輪」というコーナー名で連載が始まり、せんだい・みやぎ NPO センターと交互に隔週で担当（祝日除く）している。

2019年度に引き続き、コーナーを4つに分け、「NPOの杜」では多様な団体とつながりながら地域課題の解決に取り組んでいるNPOの姿を、「ウォロな世界」は、さまざまな思いを胸にNPOで活躍するボランティアの姿を、また「とびつく」では、地域や社会で話題となっている、または知ってほしいNPOを取り巻く情報などを紹介している。また、「information」ではみやぎNPO情報ネットWebサイトで公開されている助成金やイベントなどの情報を掲載している。

今年度は、取材させていただいた多くの団体がコロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動内容の変更を余儀なくされた。さまざまな関係者とのつながり、連携を大切にして活動しているNPOにとって、活動自粛や三密を避け集まりが制限されるなどの状況は大きな痛手であった。しかし、そんな中でも、その時できる感染対策を取り、試行錯誤や工夫を重ね、なんとか活動目的に沿った取り組みを継続しようと奮闘する姿がとても印象的であった。担当するスタッフにとっても、取材、執筆の中で大きな学びを得ることが出来た一年だった。

※「NPOの杜」は河北新報社のウェブサイト <https://www.kahoku.co.jp/special/spe1179/index.html> で見られる。

【掲載一覧】2020年4月6日～3月29日 計24回

2020	NPOの杜		ウォロな世界		とびつく	info
発刊日	見出し	掲載団体	見出し	掲載団体（個人）	見出し	件数
4月6日	子どもも大人も楽しめる外遊びを 自然の魅力 学び再発掘	やろっこひなっこ	強み生かし団体運営に力	アートワークショップすんぷちょ 黒田 美由紀さん	思いやりの活動が続々と	3
4月20日	コロナ禍でも子どもに遊びを公園や事業所対応模索	冒険あそび場一せんだい・みやぎネットワーク NPO 法人奏海の杜	楽しい食事で多世代結ぶ	NPO 法人おりぎの家 桜中 美咲さん	ライフスタイル見直す契機に	3
5月11日	電話相談増やして対応	NPO 法人仙台傾聴の会	仕事で培った技術生かす	NPO 法人移動支援 Rera 木村 正さん	小さな文化ボランティア	3
5月25日	新しいつながり方発信	NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター	喜ぶ姿を想像し料理作る	宮城野子ども食堂 菅井 京子さん	活動のアップデート検討を	3
6月8日	地域の健康づくり実践	一般社団法人りぷらす	店番でスローライフ満喫	NPO 法人麦の会 鈴木 秀一さん	子どものための記者会見	3
6月22日	工夫重ね子ども見守る	宮城県学童保育連絡協議会	震災被災者の交流を促す	東北大学ボランティアサークル「たなぼた」 宇津 敬祐さん	ポストコロナの姿を学ぶ	3

7月6日	オンラインで自由創作	NPO 法人エイブル・アート・ジャパン	教え子の活躍を楽しみに	公益財団法人仙台観光国際協会 (SenTIA) 鈴木 平輔さん	シェアを通じた生産者支援	3
7月20日	広域避難者支え、つなぐ	一般社団法人みやぎ連携復興センター	仲間に届ける会報を発送	認知症の人と家族の会宮城県支部 斎藤 昌子さん	子どもの食支援、官民連携で	3
8月3日	心の交流 コロナ下でも	せんだいこども食堂	美しい海岸を地道に守る	NPO 法人名取ハマボウフウの会 千葉 洋子さん	悩ましい寄付先選び	3
8月24日	コロナ禍の活動支える	公益財団法人地域創造基金さなぶり	一緒に練習し成長見守る	仙台市障害者スポーツ協会 山田 稔さん	マスク着けられない人へ配慮	2
9月7日	身近に隠れた魅力発見	宮城野さんぼみち	先導せず悩みに寄り添う	NPO 法人アスイク 高瀬 智康さん	「普通」の大学生にも心の支援を	2
9月28日	逆境乗り越え決意新た	あぶくまの里山を守る会	発達障害児の子育て支援	ハッピーピース 千葉 彩さん	包装削減訴え 女子高生奔走	3
10月12日	現地調査で安全を確認	仙台バリアフリーツアースセンター	就労訓練幅広くサポート	NPO 法人シャロームの会 吉村 松二さん	性の多様性認め合う社会に	2
10月26日	「話し合う文化」を育む	一般社団法人東北まちラボ	利用者からの学び励みに	NPO 法人ほっとあい 佐藤 志津子さん	求められる公共施設最適化	3
11月9日	若者の主体性引き出す	NPO 法人ハーベスト	食品提供し暮らし支える	フードバンク仙台 鹿島 和美さん	「正義味」のアイスクリーム	2
11月30日	被災地の復興議論促進	NPO 法人日本ファシリテーション協会東北支部	新たな飼い主探しに奔走	にゃんこ組 佐藤 十朱さん	米大統領選から考える共生	3
12月14日	心支え そっと寄り添う	東北自死・自殺相談センター (とうほく Sotto)	子どもに夢と笑顔届ける	NPO 法人チャリティーサンタ仙台支部 関根 聡さん	コロナ下試される市民協働	3
12月28日	高齢者同士で支え合い	NPO 法人那智が丘えにしの会	コロナ下も食材市で支援	おだわら子ども食堂 小笠原 鮎子さん	生態系破壊で進む感染症のまん延	3
1月18日	震災10年 変化受け止め	NPO 法人にじいろクレヨン	市民活動縁の下で支える	認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる 山野 和夫さん	お賽銭もキャッシュレス	2
2月1日	障害児らと地域づくり	NPO 法人奏海の杜	清掃活動で社会経験積む	フカヌマビーチクリーン 扇 由宇さん	フィジカル・ディスタンス	3
2月15日	終わらないホームレス支援 路上生活前の救済策を		NPO 法人仙台夜まわりグループ			2
3月1日	岐路に立つ移動支援 官民で議論 連携不可欠		NPO 法人移動支援 Rera(レラ)			3
3月15日	震災後つながりを意識	NPO 法人さくらんぼくらぶ	14万枚の写真を持ち主に	NPO 法人おもいでかえる 富田 優さん	コロナ下のペットブーム	2
3月1日	東日本大震災復興支援活動報告会 地域協働の在り方確認	NPO 法人石巻復興支援ネットワーク 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム	食がつなぐ被災者の交流	「つなセン」構成団体のほっと亭 寺島 知子さん	鍵握る企業の芸術活動支援	2

2. 人材育成事業

(1) NPO で高校生の夏ボラ体験 過去 17 年間のふりかえり調査

次世代の担い手が、地域で活動する NPO と出会うことで、地域の課題に気づき、興味や関心を広げることがねらいとし、2003 年以降、毎年実施してきたプログラムである。2020 年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、実施を見送ったが、この期間を利用し、このプログラムが、過去 17 年間の参加高校生にもたらした影響を、長期的な視点からふりかえる調査を実施した。

共催：かほく「108」クラブ

寄付：真如苑

調査実施期間：2020 年 8 月～2021 年 3 月

調査協力者 体験者アンケート：2003 年～2019 年の参加者 57 名

体験者オンラインインタビュー：10 名

受け入れ NPO アンケート：8 団体

高校アンケート：8 校

高校担当教員オンラインインタビュー：1 名

『「NPO で高校生の夏ボラ体験」過去 17 年間のふりかえり調査 報告書』を発行

報告書仕様：B5 判 44 頁 300 部

配布先：受け入れ NPO、協力関係機関、および調査協力者

【事業成果】

「NPO で高校生の夏ボラ体験」には、過去 17 年間、のべ 2,072 名の高校生が参加してきた。今年度の調査では、体験者へのアンケートおよびオンラインインタビューを通じて、このプログラムが、参加者のその後の進路や人生に影響を及ぼしていることが明らかとなった。「夏ボラ」は、日常を送る高校から飛び出し、NPO や支援を受ける子どもや高齢者、路上生活者と出会う貴重な機会となっており、またその出会いから新たな気付きを得て、自分の世界の広がりを感じられていた。中には、「夏ボラ」が、進学先や職業を選択する上での決定打となったケースも確認された。

「夏ボラ」は、高校生ボランティアを受け入れる NPO や送り出す高校にとっても、意義あるプログラムとなっていた。NPO にとっては、普段接点のない高校生に、活動を実際に見て、知ってもらえるチャンスであり、活動にフレッシュな刺激を得る機会ともなっていた。高校では、生徒が学外とつながりを持ち、経験を積む機会として、高校生の主体性や積極性を育むプログラムと捉えられていた。

また調査では、2021 年度以降を見据え、コロナ禍での実施に向けて検討を要する点についても、多様な視点から意見を抽出することができた。

(2) みやぎ NPO 経営者ゼミ

～タケダ・いのちとくらし再生プログラム 組織基盤強化事業（第 2 期）～

武田薬品工業株式会社の寄付をもとに認定 NPO 法人日本 NPO センター（東京）が被災地県（岩手・宮城・福島）の中間支援組織と協働で実施した事業。復興に向け被災地で活動している市民活動団体、特に今後を担っていく組織のリーダーを育成し、活動を継続し、他団体との連携強化につなげていくこ

とを目的としている。宮城県ではみやぎ NPO 経営者ゼミと称し、当法人が事務局として運営した。

5 年目となる「みやぎ NPO 経営者ゼミ」は、第 1 期ゼミ生～第 4 期ゼミ生の中から、「宮城の地で持続可能な NPO 経営の要件を探る」を研究テーマとするゼミ生を募り、自ら研究し、研究リポートを執筆するゼミとなった。

期 間：2020 年 4 月～2021 年 3 月（全 10 回）

第 5 期ゼミ生： 4 名 4 団体

	開催日	ゼミ内容（タイトル、講師名、概要）
1 回	4/2	ゼミ生紹介・研究テーマについて コーディネータ：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる代表理事）
2 回	6/7	ゼミへの思いや狙いを深掘する個人ワーク、共有 コーディネータ：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問）
3 回	6/23	研究計画の作り方 講師：石田祐（宮城大学事業構想学群准教授）
4 回	7/16	ゼミ生の各自研究計画を発表 コーディネータ：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問）
5 回	8/19	「持続可能な組織運営」をテーマに研究の仮説を発表し、絞り込む コーディネータ：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問）
6 回	9/18	アンケート調査の設問作成と調査対象団体を選択 コーディネータ：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問）
7 回	11/18	アンケート調査の進捗状況を報告 コーディネータ：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問）
8 回	12/11	ゼミ生研究進捗及び論文構想の共有 コーディネータ：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問）
9 回	1/16～18	調査結果報告及び論文構成について 講師：石田祐（宮城大学事業構想学群准教授） 講師：田尻佳史（認定 NPO 法人日本 NPO センター常務理事）
10 回	2/16～18	研究論文の執筆に当たり、構成及び研究考察について 講師：岡田彩（東北大学大学院情報科学研究科准教授） 講師：石田祐（宮城大学事業構想学群准教授）
11 回	3/23～25	研究論文の構成及び考察について最終個別指導 講師：岡田彩（東北大学大学院情報科学研究科准教授） 講師：石田祐（宮城大学事業構想学群准教授）

【事業成果】

5 期生は、気仙沼市 1 名、石巻市 2 名、仙台市 1 名、と地理的に離れたゼミ生であったが、コロナ禍での開催であったことから Zoom 活用のハイブリット開催も多かった。今年度は講座形式とは違い、自ら研究テーマを設定し、調査方法やアンケートの設問などもゼミ生が協議しながら進めた。しかし、得意とする現場での活動や情報伝達とは違い、客観的に視点を意識しながらの研究リポート作成は不慣れなことが多く、研究者のアドバイスを得ながら完成にこぎ着けたのはゼミ生一同にとって大きな成果となった。研究レポート集は 2021 年春に発行予定。

3. NPO の組織基盤整備支援事業

(1) 令和2年度宮城県NPO等の絆力を活かした復興支援事業

(マッチング・交流事業／情報収集・提供事業)

東日本大震災から10年が経ったものの、依然として被災地では復興支援を必要とする場面が残されており、また、引き続き平時の課題として取り組むべきことも見えてきている。そのような中、地域づくりに貢献する団体が活動継続に向けていかに運営を行っていくか、「マッチング・交流事業」部門と、「情報収集・提供」部門において、交流会、インタビュー、成果報告会などを実施し、各地の団体とともに検討を行った。

マッチング・交流事業

これまでの東日本大震災復興支援活動の中で、各団体はどのようなマッチングや交流を経て、その関係を構築し、それが地域の復興にどのように寄与したかを改めて振り返り、今後の地域課題解決のために必要なことを探った。石巻と気仙沼地域で講師を迎え、震災10年後のNPO支援体制の環境変化と、他地域の現状事例についてお話を伺い、ワークショップ形式で、各団体のこれまでの取り組みから、今後の地域課題解決に向けて必要となることを話し合った。また、令和2年度宮城県NPO等による絆力を活かした震災復興支援事業の採択団体の活動成果報告会と情報交換会を実施した。

また、本事業では、一般社団法人気仙沼まちづくり支援センター（気仙沼市）、NPO法人にじいろクレヨン（石巻市）、認定NPO法人地星社（岩沼市）と協働で事業を実施した。

i) 交流会

○石巻地域

日時：1月25日(月) 13:30～17:00

場所：石巻市蛇田公民館 会議室

講師：津富宏氏(静岡青少年就労支援ネットワーク)／布田剛氏(地星社)

対象：石巻・東松島・女川地域の復興・被災者支援に関連するNPO等15団体程度

協力団体：NPO法人にじいろクレヨン

○気仙沼地域

日時：1月29日(金) 13:00～16:00

場所：気仙沼中央公民館（仮）※変更の可能性あり

講師：三浦隆一氏（東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)）／布田剛氏（地星社）

対象：気仙沼・南三陸地域の復興・被災者支援に関連するNPO等15団体程度

協力団体：一般社団法人気仙沼まちづくり支援センター

ii) パネルディスカッション「3.11 から 10 年、これからの地域での活動のあり方」

日時：2021 年 3 月 18 日(木) 10:00-12:00

場所：Zoom ウェビナー + エル・パーク仙台(ギャラリーホール)

パネリスト：

中川 政治氏 公益社団法人 3.11 みらいサポート専務理事

阿部 晃成氏 雄勝町の雄勝地区を考える会 事務局長

モデレーター：石田 祐 認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるるの代表理事

宮城県 | NPO等の絆力を活かした復興支援事業（情報収集・提供事業）

3.11から10年、 これからの地域での活動のあり方



日時：2021年3月18日(木) 10:00-12:00
場所：Zoomウェビナー + エル・パーク仙台(ギャラリーホール)
(Zoom URL: <https://us02web.zoom.us/j/81552140711?pwd=Qm1rZDZAdTY3cTZ1STJlFzFkUkhVQkV0T09>) →→→→
(住所: 宮城県仙台市青葉区一番町4丁目11-1)

3.11から10年を迎え、地域も地域のみなさんも10年の月日を重ねていく中で、多様な課題に直面し、これからの課題もあります。NPOも、人材や財源に関する課題がありつつも、これからどのように活動していくかという検討が必要なステージにきているのではないのでしょうか。これからの地域での活動のあり方を二人のパネリストともに検討いたします。

1

活動事例

インタビューした結果を報告します。

2

パネル討論

パネリストからの話題提供を基に、これからのあり方を議論します。

3

Q&A

参加者のみなさんから質問をいただきながら議論します。

パネリスト
中川 政治さん
公益社団法人
3.11みらいサポート
専務理事

パネリスト
阿部 晃成さん
雄勝町の雄勝地区を
考える会 事務局長

モデレーター 石田 祐
認定NPO法人
杜の伝言板ゆるる
代表理事

参加申込:
<https://forms.gle/8ohhBF3DyKCVt64W8>



iii) 「成果報告会&情報交換会」の実施

令和2年度宮城県NPO等による絆力を活かした震災復興支援事業の採択団体の1年間の活動と成果を報告し合い、今後の地域の課題解決のために必要な取り組みや協働の在り方について意見交換した。

いずれの団体にも共通しているのは、震災後の活動の積み重ねにより得た信頼関係や地域のネットワークを事業展開にしっかりと活かしていること。複雑多様化する地域課題を、NPO単体で解決に向かわせることは出来ない。各団体とも11年目に向けて、地域の協働体制構築をより強く意識しながら、またIT・オンライン活用など、コロナ対策も視野に入れた活動の実施を模索している。

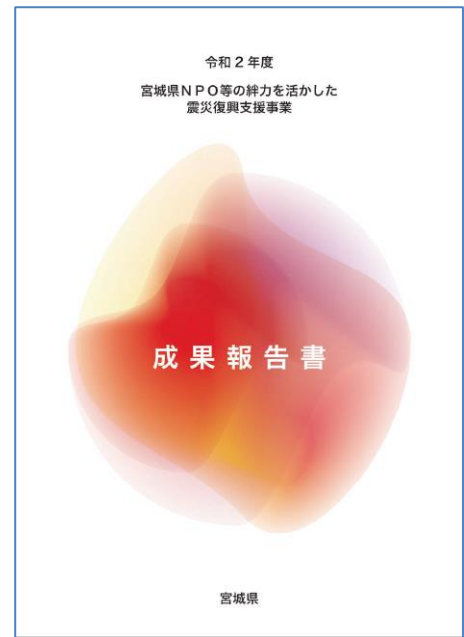
日時：3月18日(木) 13:30~17:30

場所：エル・パーク仙台及びオンラインの併用

参加団体：採択された20団体



成果報告会&情報交換会の様子



マッチング・交流事業 成果報告書

情報収集・提供事業

i) アンケートの実施「NPO の震災復興事業と他団体の連携」

〔調査目的〕

インタビュー調査から、地域での連携がこれからの NPO 等の活動において重要であるという示唆が多く得られた。自団体でできることは何かという検討の傍、同じような課題に関心をもつ他団体の存在は、地域の細かでかつ複雑な課題に取り組むには必要不可欠である。そこで、宮城県内の NPO 活動を促進する土壌がどの程度形成されているかを把握し、これからどのような支援が必要になりうるかを検討するために、アンケート調査を実施した。

〔調査結果〕

調査依頼団体 510 団体のうち、97 団体からの回答を得た。そのうち、震災復興事業を行った団体が 73 団体で、全体の 75%であった。その 73 団体に震災関連の事業や活動の継続状況について伺ったところ、図 1 のとおり、継続意向をもっている団体が 67%である。ただし、中には諸事情により継続が困難であるという団体も見られる。「その他」については、「獲得資金はないができる範囲で継続」、「要請があれば実施、コロナ禍でどう活動をしたら良いか検討中」、「平時の取り組みとして継続内容を変えて他団体と協働して実施」、といったことが挙げられた。

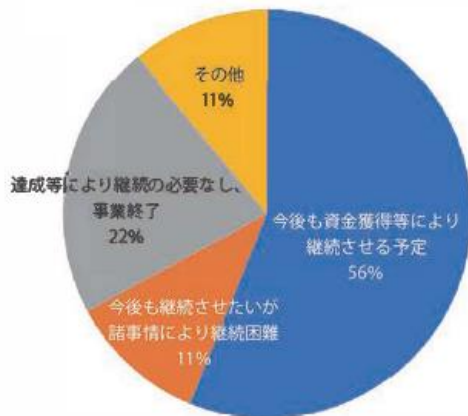


図1 震災復興関連活動の継続意向

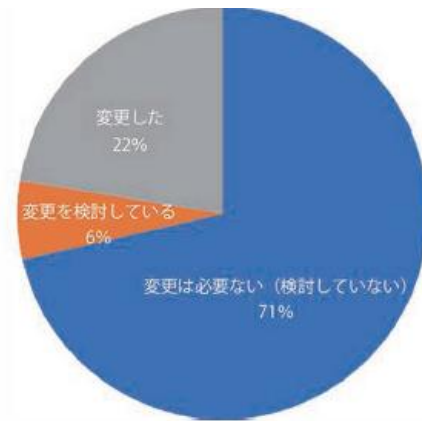


図2 事業継続における団体の方針や事業の目的、あるいは定款等の変更

活動継続予定の団体（「その他」含む）においては約3割の団体が事業の継続にあたり、団体の方針や事業の目的、あるいは定款等を変更したり、変更を検討している（図2）。活動の継続が困難である団体の理由としては、「資金の目処が立っていない(75%)」、「人材確保が難しい(63%)」、「受益者側の変化(25%)」、「連携・協力して活動する団体の不在(25%)」となっている。また、被災地域外からの団体のため10年を区切りとしたという理由も挙げられている。

事業の実施について、震災関連事業を実施している団体にはその活動について、実施していない団体については平時の活動について、他団体（企業、自治体、NPO、地域団体など）と連携したり、ネットワークを活用しているかを伺った。全体として連携を進める様子が見られる中、震災関連活動ではより連携を必要とされている可能性が示唆される。

また、連携先を伺ったところ、震災関連活動で8割、平時の活動で7割の団体が近隣のNPO（法人格は問わない）と連携しており、自治体とも回答団体のおよそ7割が、民間企業とは4割から6割が連携している。大きな差が見られるのは、遠方のNPOとの連携で震災活動においては4分の3の団体、平時活動においては2割となっており、震災復興活動においては遠方のNPOの力が重要であると言える。

最後に、今後の連携について伺った（図5）。震災活動に有無に関わらず、今後においても連携を広げたり、関係を強めることの重要性が示されている。ただし、2~3割程度の団体において今後の連携のあり方について支援等が必要となる可能性もある。

ii) 新聞記事分析の実施

新聞は、地域に暮らす人々が、震災からの復興や被災者支援に関する情報を得る重要な手段の一つである。そこでNPOやその活動に関する記事がどの程度取り上げられるかは、NPOの活動のしやすさや継続性を支える土壌づくりという点で、重要な要因となり得る。こうした背景から、2011年3月11日以降、宮城県および東北地域の記事を中心に上げている地方紙である「河北新報」および「石巻かほく」を取り上げた。「河北新報データベース」を用いて、2011年3月11日以降、1年ごとに、関連記事としてヒットする記事数を調査し、その推移を見ることにした。



図1 震災復興とNPOの新聞記事の推移
注) キーワードとして、「震災」「復興」「NPO」「つながり」「絆」「コミュニティ」を用いた。条件として「見出しと本文」に当該キーワードが任意一致すること（一部分のみが一致含む）を設定した。

iii) インタビューと成果報告書の発行

現在も復興支援活動を行っている13のNPO等へのインタビューを通して、活動展開や転機、ビジョンをお伺いし、これからの地域での活動を継続していくためのヒントを紹介する冊子を作製した。



情報収集・提供事業 成果報告書

(2) みやぎ NPO 事務支援センターの運営

NPO の経営相談や認定申請のアドバイスなど、個別に有償で対応する。

また、会計ソフトやクラウド型システムの会計初期設定や入力代行、決算事務などサポートする。ただし、担い手が不足していることから人材を育成しながら、可能な範囲で対応する。

①事務代行及び特別サービス

記帳代行や領収証・請求書整理のほか、特別サポートとして活動決算書作成や会計ソフトの初期設定ほか

【2020 年度実績】 派遣団体数：2 団体 特別サポート：3 団体
 派遣回数：14 回
 派遣サポーター：2 名

②会計サポーター派遣

会計やお金の管理、仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス、会計ソフトの導入支援
 活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポートほか

【2020 年度実績】 派遣団体数：6 団体
 派遣回数：39 回
 派遣サポーター：2 名

【事業成果】

会計サポーター派遣のニーズが見えている一方、経理事務代行を引き受けられるサポーターの育成が引き続き課題となっている。少人数の体制のなかでは上記のとおり、信頼される NPO の会計報告を行うために、一定の成果を上げることができた。

4. 調査研究・講師派遣・コンサルティング事業

(1) 講師等の派遣

行政や NPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO 等に関する講演・研修などの講師に派遣した。

月 日	派遣先
5 月 28 日	みやぎ NPO プラザ「会計初級オンライン講座」 講師
8 月 21 日	みやぎ NPO プラザ「仕訳講座」 講師
10 月 9 日	加美町市民活動研修会 講師
10 月 31 日	みやぎ NPO プラザ「NPO 法人設立講座」 講師
11 月 13 日	加美町市民活動研修会 講師
12 月 11 日	加美町市民活動研修会 講師
12 月 12 日	名取市市民活動支援センター 市民活動基礎講座 講師
2 月 19 日	名取市市民活動支援センター「日々の会計と決算書作成のポイントを学ぼう！Zoom 開催」 講師
3 月 5 日	みやぎ NPO プラザ「NPO 法人のための決算書作成講座」 講師 ※職員が新型コロナに罹患したため中止
3 月 17 日	みやぎ NPO プラザ「オンライン会計初級講座」 講師
3 月 25 日	名取市市民活動支援センター「教えて！市民活動会計専門相談会」 講師

(2) 組織診断及び相談・アドバイス対応

NPO の事業や組織運営について個別に相談対応をした。

- ・みやぎ NPO プラザ：運営相談対応 2 件 7/15 9/29
- ・名取市市民活動支援センター：相談対応 1 件 11/21

(3) 仙台市協働事業アドバイザー

協働まちづくり推進助成事業サポートチームのサポートチームケース会議を 7 月 21 日に開催した結果、今年度の各助成事業への支援方法は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下記いずれかの方法により行った。

- ① 市民協働推進課が行う各助成団体へのヒアリングにサポートチームも同行することで、各事業における課題等を探りながら支援を行う。
- ② 2～3 回程度、サポートチームと各助成団体によるミーティングのような場を設け、各助成団体からヒアリングを行いながら、課題等を探り、必要な助言を行う。(非公開の中間報告会のイメージ)

ゆるるでは、9 月 14 日に、新規事業である「鶴が丘コミュニティと大学&学生群による『健康づくり協働キャンパス』プロジェクトへのヒアリングを、市民協働推進課と実施。コロナ禍により事業内容の変更を余儀なくされたこと、その中でも工夫しながら健康づくりプロジェクトの企画運営を行っていることを確認した。

(4) その他ヒアリング対応

中間支援組織として宮城県内の復興支援の NPO 活動に関するヒアリングのほか、NPO の現状や当法人の組織運営に関する調査などに対応した。

- ・ 7/29 内閣府「認定 NPO 法人の活動状況に関するアンケート調査」1 件
- ・ 11/17 復興庁「発災から約 10 年における民間支援団体のこれまでの活動実態及び今後の展望に関するアンケート調査」1 件
- ・ その他 NPO 等からのアンケートに回答

5. 拠点運営支援事業

(1) 宮城県民間非営利活動プラザ（みやぎ NPO プラザ）の管理運営

平成 17 年 4 月から指定管理者として運営している、宮城県内の NPO 活動を総合的に推進するための中核機能拠点「みやぎ NPO プラザ」は、平成 31 年 4 月から 3 年間（5 期目）の指定管理者に選定され、引き続き管理運営を担っている。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況での運営だった。宮城県の方針により、4 月 10 日～5 月 18 日は会議室や交流サロン等の施設の一部を休止し、その後も

感染拡大の危険性から、会議室等の使用定員を半数程度として運営した。また、活動を休止する NPO や市民活動団体が多く、施設利用者が著しく減少した。

リアルに集まるのが難しいならば、と挑戦したのが、ウェブ会議システム「Zoom」の活用である。Zoom で講座やイベント、相談会などを試行錯誤しながら実施し、好評を得た。県域支援の観点からも、場所を選ばず参加できるオンラインは、今後もその利点を生かし積極的に活用していきたい。

また、NPO や市民活動団体に、コロナ禍で生じた課題解決の期待が寄せられている。このため、NPO の信頼性を高めるために団体の情報公開を促進するための支援や、次世代の NPO ・市民活動の担い手創出に関する取り組み、組織基盤の強化に結び付く事業を展開した。

① 施設管理

i) 施設利用状況

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO 相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
R2合計	30	1	5,605	1,813	1,206	1,052	308	562	0	5,761	448	786	1,308	1,204	895	847	2,960	24,786
R1合計	27	1	8,736	1,768	2,457	1,203	329	709	3	11,867	384	1,451	2,587	1,549	1,103	2,014	3,685	39,873

※NPO相談には専門相談を含む

ii) 会議室利用状況

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
R2合計	228	2,826	902	129	1,538	435	38	173	114	47	218	126	186	1,006	535	628	5,761	2,112
R1合計	247	4,500	987	212	4,450	685	97	529	263	87	536	243	265	1,852	831	908	11,867	3,009

iii) コピー機・印刷機

	コピー機				印刷機				
	モノクロ(枚)	カラー(枚)	合計(枚)	トナー(本)	利用件数(件)	製版数(枚)	印刷枚数(枚)	インク(本)	マスター(本)
R2合計	4,196	230	4,426	0	398	1871	565,551	29	9
R1合計	8,469	784	9,253	1	725	3,762	962,010	51	18

iv) 事務ブース・常設ショップ・レストラン使用団体への支援

事務室や常設ショップ、レストランの利用団体が入居期間中に力をつけていけるよう、施設の使用報告書や利用者懇談会等で活動状況を把握し、課題解決のアドバイスをしたほか、専門相談や講座参加につなげた。

v) 施設見学および運営ヒアリング

8 件 30 名の施設見学に対応し、みやぎ NPO プラザの機能を紹介した。

vi) 事務室等使用団体選考審査会

令和 2 年 6 月、9 月、令和 3 年 2 月に事務室、レストラン、ショップスペースの使用団体を公募し、選考審査会において決定した。

② インターネット情報サイト(みやぎ NPO 情報ネット)運用業務

コロナ禍で活動を休止する NPO が多く、NPO が主催するイベントやボランティア・有給スタ

ップの募集情報の収集が難しかった。また、NPO も活用できるコロナ支援策や助成金情報等の収集と掲載に力を入れた。みやぎ NPO プラザ主催の講座や無料専門相談会等のページ、短期ショップの出店情報も随時作成更新し、タイムリーな情報発信に努めた。

i) みやぎ NPO 情報ネット更新件数

	訪問者数	ページビュー数	トップページアクセス数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県・市町村	その他更新	合計	管理日数	バックアップ回数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金											
R2合計	228,680	335,823	21,450	26	689	546	518	2766	248	118	27	7	14	5	225	5189	319	60
R1合計	322,581	470,343	19,546	39	752	908	492	3,600	218	173	35	14	18	11	224	6,484	316	60

ii) みやぎ NPO 情報ネットメールマガジン掲載件数（毎月 1 日発行）

	NPO 支援情報 (トビックス)	プラザからのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
R2合計	41	98	309	20	0	468
R1合計	33	130	304	17	0	484

※R1 登録者数：R1 年度末時点の総登録者数 905 名 + R2 年登録増加数 13 名 = 918 名

iii) みやぎ NPO プラザブログ～おむすび日記～掲載件数

	新規エントリー数						合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	全館イベント	助成金情報	NPO法人 認証情報	講座レポート	
R2合計	42	109	5	135	9	14	314
R1合計	44	117	4	139	8	11	323

iv) みやぎ NPO プラザ Facebook

みやぎ NPO プラザの日常の様子や実施講座の告知、ブログの更新状況を拡散する手段として活用し、年間 456 件発信した。

③ みやぎ NPO プラザの情報誌編集・発行業務

i) One to One 発行

- ・発行日：年 6 回 奇数月の 1 日
- ・発行部数：6,000 部
- ・仕様：A4 版 8 頁 フルカラー印刷

※主な配布先

県内各市町村、県地方振興事務所、県内 NPO 支援施設、プラザ運営評議委員、仙台市内の公共施設、仙台市市民センター、県外の NPO 支援施設・団体など

④ NPO の促進・団体の育成等に関する相談業務

i) 専門相談

会計・税務相談：18 件（年 6 回）

認定NPO法人申請相談：0件（随時）
 雇用調整助成金相談：2件（年1回）
 オンライン事業展開相談：3件（年1回）
 法人設立・団体運営相談：35件（毎週水曜日）

※1団体1時間、認定NPO法人相談、事業企画・事業運営相談、法律相談は1回1,000円

ii) 窓口相談

窓口や電話での相談は356件あり、随時スタッフが対応した。相談内容は、コロナ禍での総会開催方法や、持続化給付金等の支援策への申請方法などの相談が多かった。専門性が高いものは専門相談につなぐなどし、正確な情報を伝えるように心がけた。

⑤NPOの促進・団体内の育成等に関する業務

i) NPO運営のためのマネジメント講座

NPOの運営一般、人材育成に関する講座を6講座開催した。3月に開催したNPO法人のための総会運営ポイント講座は、開催直前に宮城県内のコロナ感染者数が急増したため、急きょ、オンラインを併用して開催した。

講座名	講師名	日時	参加者数
NPOのための雇用調整助成金申請オンラインセミナー【オンライン】	神植功行さん（宮城県よろず支援拠点コーディネーター、社会保険労務士）	令和2年6月16日（火） 13:30～15:00	12
助成金申請のコツ講座	渡邊桂子さん（NPO法人フレーム・ラボ代表理事）	令和2年9月24日（木） 14:00～16:00	16
基本をしっかり学べる！NPO法人設立講座	堀川晴代（みやぎNPOプラザ館長）	令和2年10月31日（金） 15:00～17:00	19
認定NPO法人申請講座	布田剛さん（認定NPO法人地星社代表）	令和2年11月6日（金） 14:00～16:00	17
NPO法人や市民活動団体のためのクラウドファンディング講座【オンライン】	今給黎辰郎さん	令和3年1月27日（水） 14:00～16:00	25
NPO法人のための総会運営ポイント講座【オンライン】	大久保朝江（認定NPO法人杜の伝言板ゆるる顧問）	令和3年3月26日（金） 14:00～16:00	13

参加者会計 102
 平均 17.0

ii) NPOの会計・税務・決算等の講座

NPOの会計・税務に関する講座を5講座開催した。3月に実施を予定していた決算書作成講座は、前日にプラザ職員のコロナ感染が確認されたため、宮城県の指示により中止した。

講座名	講師名	日時	参加者数
NPOのための会計初級オンライン講座【オンライン】	小野恵子さん（会計サポーター）	令和2年5月28日（木） 13:30～15:30	20
NPO法人のための持続化給付金申請ポイント講座	平野由紀子さん（税理士）	令和2年7月21日（火） 14:00～16:00	24
NPOのための“仕訳”集中講座	小野恵子さん（会計サポーター）	令和2年8月21日（金） 13:30～16:30	14
NPO法人のための税金基礎講座【オンライン】	脇坂誠也さん（税理士・認定NPO法人会計税務専門家ネットワーク理事長）	令和2年11月27日（金） 13:30～16:30	26
NPO法人のための会計監査講座	桜井康博さん（公認会計士・税理士）	令和3年2月19日（金）	17

		13:30～16:30	
NPO 法人のための決算書作成講座	小野恵子さん（会計サポーター）	令和 3 年 3 月 5 日（金） 13:30～16:30 ※職員が新型コロナに罹患したため中止	-

参加者会計 101
平均 20.2

⑥ NPO に関する行政職員の理解促進事業

行政職員を対象に、NPO を取り巻く環境や基礎的な理解を深めるため、年 1 回開催している。

講座名	講師名	日時	参加者数
行政職員のための NPO 理解講座	大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる顧問）	令和 2 年 8 月 5 日（水） 14:00～16:00	21

⑦ NPO 支援施設および中間支援組織の育成支援事業

宮城県内の NPO 支援施設や支援組織のスタッフを対象に、NPO 支援に必要なスキルを学び、情報交換し共有することで、宮城の NPO 支援力を高める機会を提供した。

i) NPO 支援センター研修

講座名	ゲスト名	日時	参加者数
「思いをつなぎ、輪を広げる NPO 支援とは」【オンライン】	古賀桃子さん（NPO 法人ふくおか NPO センター理事長）	令和 3 年 1 月 22 日（金） 14:00～16:30	17

⑧ コロナ禍での活動の進め方や、オンラインを活用した場づくりを探るフォーラムを開催した。

講座名	講師名	日時	参加者数
みやぎ NPO フォーラム 2020 どうする？With コロナ時代の NPO ～オンライン化の進め方とリアルな 場のつくり方～	【講演講師】呉哲煥さん（NPO 法人 CR ファクトリー代表理事） 【ゲスト】及川多香子さん（NPO 法人 アートワークショップすんぷちよ代表）	令和 2 年 12 月 13 日（日） 13:30～16:30	44

⑨ ボランティア育成事業

i) 市民活動サロン

これまで市民活動と無縁だった市民を対象に、市民活動とは何か、NPO とはどのような組織かを知ってもらい、市民活動や NPO への理解を促し、支援者・実践者として市民活動へ参画してもらう入口とする。

講座名	ゲスト名	日時	参加者数
NPO に参加するヒントを 見つけよう！【オンライン】	小椋亘さん（フードバンク仙台）	令和 2 年 10 月 24 日（土） 15:00～16:00	10
市民活動オンライントークサロン 見つけよう！NPO で輝く生き方 【オンライン】	坂部認さん（NPO 法人エイブル・アート・ジャパン・プロジェクトスタッフ） 吉村松二さん（NPO 法人シャロームの会ボランティア）	令和 3 年 2 月 20 日（土） 15:00～16:30	10

⑩ みやぎ NPO プラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会設置要綱に基づき、年 2 回開催した。

- ・ 第 1 回：7 月 17 日（金）15：00～17：00
- ・ 第 2 回：2 月 5 日（金）13：30～15：30 ※オンライン併用開催

⑪ その他、施設の設置目的を達成するための企画業務

i) 利用者懇談会の開催

みやぎ NPO プラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見交換および利用団体間の情報交換の場として開催。

- ・ 第 1 回：9 月 10 日（木）14：30～16：00
- ・ 第 2 回：2 月 2 日（火）15：30～17：30

ii) NPO の書籍販売代行

NPO の情報を広く伝えるため、NPO が発行した書籍等の販売を代行した。受託団体は指定管理者を含む 9 団体。書籍の種類は 15 種類で、65 冊販売した。

【事業成果】

- ・ NPO が活用できるコロナ支援策や、コロナで人が集まらない場合の総会や事業展開について、みやぎ NPO 情報ネットで情報発信したほか、講座テーマに取り上げたり、専門相談や窓口相談で随時対応した。
- ・ コロナ禍で施設の利用制限や NPO による利用自粛で利用者数が減少したが、ウェブ会議システム「Zoom」を積極的に活用して事業を実施し、オンライン講座や相談会においては、これまでプラザを利用したことのない層の参加があった。
- ・ 法人事務局との連携を常に意識し、特に NPO の組織基盤整備に係る事業は、プラザで実施するものに限らず、NPO に広く情報を提供した。

6. NPO 等連携事業

（1）令和 2 年度 NPO 支援施設フォローアップ事業委託業務（宮城県からの委託事業）

県内全域の NPO 活動を総合的に促進するための中核機能拠点であるみやぎ NPO プラザと県内の各地域の NPO 支援施設との連携を強化し、NPO 支援施設の活動支援及び人材育成を行うとともに、みやぎ NPO プラザと NPO 支援施設との協働事業を実施することで、NPO 支援施設の機能強化と地域の NPO 活動の促進を図ることを目的とした事業。

事業期間：2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

対象施設：県内の NPO 支援施設（12 施設）

① NPO 支援個別訪問調査（ヒアリング）

以下の 12 施設に個別訪問し、各施設の現状や課題を調査し、課題へのアドバイスをを行うとともに、調査結果を取りまとめた。

特にコロナ禍での施設運営や事業実施の状況の聴き取りに重点を置いた。

施設名(運営団体名)	訪問日時
仙台市市民活動サポートセンター (NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)	7月11日(土)14:00～16:30
石巻市NPO支援オフィス (NPO法人いしのまきNPOセンター)	8月26日(水)13:00～15:50
塩竈市協働推進室	9月30日(水)14:00～15:10
気仙沼市民活動支援センター	8月18日(火)14:00～16:00
白石市民活動支援センター (白石市民活動フォーラム)	9月29日(火)14:00～16:00
名取市市民活動支援センター (NPO法人パートナーシップなとり)	7月31日(金)14:00～16:50
多賀城市市民活動サポートセンター (NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)	7月18日(土)14:00～16:00
岩沼市市民活動サポートセンター	9月8日(火)14:00～16:20
とめ市民活動プラザ (NPO法人とめタウンネット)	9月3日(木)14:00～16:20
栗原市市民活動支援センター (NPO法人Azuma-re)	8月11日(火)14:00～17:00
東松島市蔵しっくパーク (NPO法人東松島まちづくり応援団)	8月7日(金)14:00～16:30
大崎市市民活動サポートセンター (NPO法人宮城マネジメント協会)	7月2日(木)14:00～16:30

② 人材育成研修の開催

NPO支援施設の職員を対象に、中間支援施設としての支援力向上を目的とした人材育成研修を1泊2日で実施した。

テーマ:「ポストコロナ時代の市民活動・NPO支援のあり方を探る」

開催日時: 令和3年2月25日(木)13:30～18:00(19:30～交流会)

2月26日(金)9:00～12:00

会場: 東北自治総合研修センター302教室、214-215 演習室ほか

内容:

【1日目・2月25日(木)】

オンライン講義「ポストコロナ時代の市民活動・NPO支援の役割を探る」

講師: 松原明氏(認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会前代表)

情報交換「コロナ禍の市民活動・NPO支援の状況と課題」

【2日目・2月26日(金)】

講義「新型コロナに感染しない、させない施設運営や事業運営の注意点」

講師: 残間由美子氏(坂総合病院感染制御室室長、感染管理認定看護師)

参加者: オンライン講義10名、交流会(夕食)7名、宿泊7名、講義9名

③ 協働事業の実施

県内のNPO等、中間支援組織、NPO支援施設を対象に、県内のNPO支援施設と協働で対象者のニーズを踏まえた事業を実施した。

i) 栗原市市民活動支援センターとの協働事業

事業名:「プロが教える 市民活動団体のための広告づくり講座」

講師: 真山正太氏(メディアデザイン副代表、グラフィックデザイナー)

日時: 11月20日(金)14:00～16:00

会 場：栗原市市民活動支援センター多目的室

参加者：9 名（栗原市内の市民活動団体や町内会のメンバー）

ii) 岩沼市市民活動サポートセンターとの協働事業

事業名：「市民活動お役立ち講座 パソコンを使ったチラシ作り講座」

講 師：伊東利光氏（メディアデザイン代表）

日 時：12 月 18 日（金）14：00～16：00

会 場：いわぬま市民交流プラザ会議室

参加者：20 名（岩沼市内の市民活動団体や町内会のメンバー等）

iii) 気仙沼市市民活動支援センターとの協働事業

事業名：「NPO 法人・市民活動団体のための会計税務相談会」

相談員：平野由紀子氏（税理士）

日 時：令和 3 年 1 月 20 日（金）12：50～15：50

会 場：※気仙沼市役所ワッペン庁舎 1 階女性プラザでの開催から、新型コロナウイルス感染症対策としてウェブ会議システム「Zoom」での開催に変更

定 員：3 団体程度

参加者：3 団体（気仙沼市内の NPO 法人及び任意団体）

iv) 東松島市蔵しっくパーク、石巻市 NPO 支援オフィスとの協働事業

事業名：「NPO・市民活動団体のためのオンライン会計初級講座」

講 師：小野恵子さん（会計サポーター）

日 時：令和 3 年 3 月 17 日（水）13：30～15：30

会 場：東松島市蔵しっくパーク、石巻市 NPO 支援オフィス

※2 月の福島県沖地震で石巻市 NPO 支援オフィスの外壁の一部が崩れ、会場として使用できなかった。

※会場参加が難しい場合は、オンライン参加可とした

参加者：14 名（東松島市蔵しっくパーク 12 名、Zoom2 名）

④ その他

i) NPO・市民活動支援施設オンライン情報交換会

目 的：県内の NPO・市民活動支援施設のスタッフをオンラインで結び、コロナの影響を受けている地域の NPO の状況や、支援施設の運営状況今後の事業推進にあたっての課題等を情報交換・共有し、各施設の運営に役立てる。

日 時：5 月 22 日（金）15：00～16：30

会 場：※ウェブ会議システム「Zoom」で実施

参加者：7 施設 11 名

内 容：①参加者自己紹介と施設の状況共有

②「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関する宮城県内 NPO 法人緊急アンケート」の結果共有

③コロナ禍での支援施設の運営状況と再開に向けた準備

【事業成果】

・個別訪問調査を通し、みやぎ NPO プラザへの要望として他の支援施設の職員との交流の機会が

欲しいという意見や、学びたいテーマの聴き取りができ、人材育成事業や協働事業、みやぎ NPO プラザ指定管理事業の NPO 支援センター研修に取り入れることができ、それぞれ好評だった。

- ・人材育成研修は、各講座とも、実績・実力のある講師を招いたため、参加者の満足度は高かった。特に松原明氏のオンライン講義では、NPO 支援施設のなりたちや現状を踏まえて、今後求められる NPO 支援の具体的なあり方を学ぶことができた。また、各参加者の組織の活動状況の情報交換を通して顔の見える関係づくりができた。
- ・県内 4 ヶ所で協働事業を実施できた。講座や相談会の協働開催を通して、みやぎ NPO プラザの支援事業実施のノウハウを提供することができ、また、それぞれの施設が得意とする支援を共有することもでき、互いのスタッフの育成にもつながった。
- ・本事業を通して、県内 NPO 支援施設の職員と顔の見える関係性を築き、日常的に NPO 支援に関する情報交換や相談などができるようになったことも大きな成果である。

(2) 真如苑「みやぎの居場所づくり助成」事業の事務局運営

- ・第 6 回「みやぎの居場所づくり助成」

募集期間：4 月～5 月 15 日

応募団体数：17 団体

審査会：2020 年 6 月 11 日

助成団体決定：6 団体

(3) みやぎ NPO 情報公開システム運用協議会事務局業務

2012 年に構築した NPO の検索システム「みやぎ NPO ナビ」のシステム運用協議会の事務局を担当した。

構成団体：仙台市、気仙沼市、登米市、石巻市、大崎市、名取市

認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、
NPO 法人いしのまき NPO センター、NPO 法人パートナーシップなとり

2020 年 7 月 30 日 NPO 情報公開システム運用協議会総会

2020 年 10 月 30 日 NPO 情報公開システム運用協議会運営委員会

(4) その他

- ① 明治ホールディングスお菓子寄贈プログラム 寄贈団体コーディネート

障がいのある子どもたちへの支援活動をしている NPO および被災地で子どもたちへの支援活動をしている NPO、合わせて 2 団体を推薦し、1 団体を決定。

7. その他の支援事業

(1) 令和 2 年度宮城県新型コロナウイルス感染症対策民間非営利活動支援事業補助金事業

事業名：NPO 等における専門家相談支援事業

事業期間：令和2年8月3日から令和3年2月28日

事業目的：

新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動の自粛を余儀なくされた宮城県内のNPO等に対し、活動の継続のために必要な専門家への相談に要する経費を補助することで、NPO活動の継続を推進することを目的とする。

実施内容：

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているNPO等の活動が、活動の継続のため、専門的な知識や経験を有する各分野の専門家への相談を必要とする場合、その相談に要する費用の一部を支払う支援を実施した。専門家は、社会保険労務士、公認会計士、税理士、弁護士、経営コンサルタントなど、活動を継続するために必要な知識等を相談業務により提供してくれる者とした。

相談内容の具体には、新型コロナウイルス感染症対策に係る各種支援金等の申請に係る相談、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う運営や資金計画などの課題解決のための相談（運営相談、税務相談、法律相談）などとした。新型コロナウイルス感染症の影響と判断できない内容に係る相談は対象外とし、また、各種書類の作成・申請代行も対象外とした（これらの作業を依頼することは妨げないが、助成対象外のため、経費の支払いがわかるように領収書の提示を求めた）。

【事業成果と今後の課題】

①相談団体の専門的知見が深まり、活動を継続することにつながった

相談のヒアリングや専門家への相談を重ねることで、会計や労務についての知識が深まり、今後の組織体制づくりに役に立ったという声があり、活動を継続することにつながった。

②相談団体の活動の実務の現状について具体的に知り、課題を正確に分析して伴走するチカラを得た

新型コロナウイルスの影響で、重要ポストにいたスタッフが退職した団体では、存続が危ぶまれる状況にあった。ヒアリングの際に問題を整理することを丁寧に行ったことで、実務の現状を知り、課題解決のための専門家につなぐことができ、課題解決につながった。中間支援組織としての重要な役割を改めて気づき、中間支援組織としてのスキル向上が求められており、今後の育成に役立てていきたい。

③組織体制の重要性とNPO法人の組織・事業運営の体制について

持続化給付金について、収益事業を行っている団体で、日頃から会計書類などを整えているところは、比較的初期の段階で申請をしていたことがわかった。また、持続化給付金事務局の担当者がNPOの会計基準についての理解がなく、決算書類等の説明に戸惑ったという声があった。逆に、団体に会計担当者がいないなど、組織体制が弱い団体は申請の際に求められている書類の理解が及ばず頓挫しているケースも見られた。

一方で、今回のヒアリングで、福祉系の委託事業を行っている団体や復興支援等を請け負っているNPO法人等は、大幅な収益の減少に至らないケースもみられ、自主事業を多く行っている団体については、大きな被害を受けている傾向がみられた。被害については法人内で資金調達をしてカバーしたり、自主事業を休業したり小規模に変更するケースがあった。

県内のNPO法人等の資金調達については、公的資金（委託事業等）を継続的に運営費にしている団体が多くなっている可能性があり、調査が必要だと考える。

④NPO 法人等の専門家への相談スキルとヒアリング力の重要性について

相談団体が自身の「困りごと」について、相談するチカラや問題に気づくチカラが弱いことがわかった。NPO 特有のさまざまな働き方で事業を実施している団体では、新型コロナウイルスの影響によって人員体制がくずれていた。しかしその現状に対しての対応策ができず、困り果てていたが積極的な相談には至っていなかった。相談担当者が、新型コロナウイルスの影響と本来の活動について、ていねいにヒアリングを行ったことで、課題が表面化し、共有することができた。そして改めて本事業について紹介し、専門家への相談につながるができ、課題解決に至った。

中間支援組織の職員としてヒアリングスキルや課題分析のチカラは、今後もあり、育成の重要なポイントになると考えられる。

（２）宮城県 NPO 等による心の復興支援事業（受益者アンケート業務委託）宮城県委託

NPO 等の復興・被災者支援の活動が今後も継続されるよう、NPO 等の復興・被災者支援の活動に関する効果を把握するため、今年度、本事業を活用して行われている復興・被災者支援の活動について、活動を通じて支援を受けられた方（受益者）を対象としたアンケートを実施し、受益者の方々が支援を受けられたことによる効果等を把握するもの。

県からのフォーマットに入力する作業であった。

事業期間：令和 2 年 12 月 4 日～令和 3 年 3 月 26 日

アンケート協力団体：16 団体（総数 358 枚）

【事業成果】

地域に根ざした NPO 等の支援を通して受益者同士の交流が生まれ、それが生きがいや自己肯定感に繋がっており、今後も活動が必要とされている現状が見られた。

（３）NPO の基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売

NPO の理解促進及び運営基盤強化につながる冊子等を NPO に販売した。

冊子名	発行者（団体）
NPO 会計基準完全収録版第 2 版	NPO 法人会計基準協議会
会計基準ハンドブック	認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク
知っておきたい NPO のこと「基本編」	NPO 法人日本 NPO センター
知っておきたい NPO のこと「資金編」	NPO 法人日本 NPO センター
知っておきたい NPO のこと 3「協働編」	NPO 法人日本 NPO センター
知っておきたい NPO のこと 4「参加編」	NPO 法人日本 NPO センター
知っておきたい NPO のこと 5「評価編」	NPO 法人日本 NPO センター
NPO 法人のための業務チェックリスト	認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク
NPO 会計日誌	NPO 支援東京会議
会計ソフト「会計王」NPO 法人スタイル	ソリマチ株式会社
「Q & A NPO 会計マニュアル」	認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

8. 他団体との連携や政策提言

(1) 多様な団体と連携した活動

① NPO 法人会計基準協議会

世話団体及び幹事団体として、会計基準の普及に取り組んでいる。

- ・ 「NPO 会計基準策定 10 周年記念行事～歴史秘話 基準誕生の頃の話聴く夕べ～」の企画メンバーとして関わり、顧問・大久保がパネリストとして登壇した。

開催日：2020 年 12 月 10 日

開催場所：Zoom にて実施

② 日本 NPO センター関連

- ・ 「新型コロナウイルス」NPO 支援組織社会連帯（CIS）の取り組みに参加。

③ かほく「108」クラブ

河北新報社とその関連 12 社で作る社会貢献団体かほく「108」クラブの助成金『かほく「108」ファンド』の NPO への広報協力や、選考審査委員としてサポート。

NPO で高校生の夏ボラ体験プログラムでは共催団体となって資金支援を受けている。

④ その他 NPO 関連役員等

- ・ NPO 法人パートナーシップなとり 理事（堀川）
- ・ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター 評議員（大久保）
- ・ 認定 NPO 法人あかねグループ 評議員（大久保）

⑤ 会員として連携

- ・ NPO 法人会計基準協議会
- ・ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・ NPO 法人日本 NPO センター
- ・ NPO 法人いしのまき NPO センター
- ・ NPO 法人とめ市民活動フォーラム
- ・ NPO 法人パートナーシップなとり
- ・ 仙台市社会福祉協議会

(2) 審議会・委員会等の委員

行政や民間の審議会や委員会、評議会などの委員として市民活動・NPO の立場から提言した。

① 国：東北行政評価局会議行政に関する懇談会（石田） 2 月 7 日出席

② 宮城県：宮城県防災会議委員（石田）メールでの意見集約

宮城県民間非営利活動促進委員会委員（堀川）

5/26(火) 7/14(火) 3/14(月) 11/10(火・欠席)

宮城県地域福祉支援計画策定検討会議委員（堀川）

宮城県共同募金会「県域助成あり方検討委員会」委員（堀川）

(3) 助成金等審査員

民間の助成や補助事業に審査員を派遣し、支援組織としての視点から審査に加わった。

- ・ 真如苑みやぎの居場所づくり助成審査 6/11（大久保）

（４）新型コロナウイルス拡大防止対策下における NPO の存続危機と雇用維持に対する支援に関する緊急要望書

新型コロナウイルス拡大防止のために活動自粛が求められる中、活動ができず運営への悪影響が出ている団体に対する支援の必要性を調査し、政策提言を行った。

調査および要望書に関する会議：4/10、4/18、4/20、4/22

政策提言日：4/24 に仙台市長宛（市民局長）、宮城県知事宛（環境生活部部長）を訪問、手渡した。

提出担当者：大久保（杜の伝言板ゆるる代表理事(当時)）および土佐正一郎代表理事（せんだい・みやぎ NPO センター）

調査結果：杜の伝言板ゆるるホームページ <https://www.yururu.com/?p=4370> から見る事ができる。

提言内容：同上



Ⅲ 組織運営に関する事項

1. 総会の開催

2020 年度通常総会を開催

開催日時：2020 年 5 月 24 日（日）14：00～16：00

場所：みやぎ NPO プラザ

議案：第 1 号議案 2019 年度事業報告及び決算の承認

第 2 号議案 2020 年度事業計画（案）及び予算（案）の審議及び議決

第 3 号議案 役員選任（案）の審議及び議決

2. 理事会の開催

第 170 回 4 月 21 日（火）新型コロナウイルスへの対応、事務局運営体制等

第 171 回 5 月 14 日（火）2019 年度決算、2020 年度事業計画等

第 172 回 6 月 1 日（月）代表理事、副代表理事、常務理事の選出、
法人事業概要及び理事の役割について

第 173 回 7 月 28 日（火）宮城県新型コロナウイルス感染症対策支援事業、
事務局運営体制等

第 174 回 9 月 1 日（火）宮城県 NPO 等の絆力を活かした復興支援事業、
事務局運営体制等

第 175 回 10 月 6 日（火）事務局運営体制、NPO で高校生の夏ボラ体験等

第 176 回 11 月 11 日（水）宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業
受益者アンケート業務、職員配置等

第 177 回 12 月 16 日（水）NPO で高校生の夏ボラ体験アンケート、事務局運営体制等

第 178 回 1 月 27 日（水）公益財団法人 SOMPO 環境財団 CSO ラーニング、
復興庁被災者支援コーディネート事業等

第 179 回 3 月 1 日（月）2020 年度職員の期末手当、2021 年度職員報酬等

3. 会議

（1）事務局スタッフ及びみやぎ NPO プラザスタッフ合同ミーティング

毎月第 1 月曜日に開催（年始・連休時を除く）し、今年度は全 12 回開催。

開催日：4 月 6 日、5 月 11 日、6 月 1 日、7 月 6 日、8 月 3 日、9 月 7 日、
10 月 5 日、11 月 2 日、12 月 7 日、1 月 4 日、2 月 1 日、3 月 1 日

（2）その他

編集会議、事務局会議、みやぎ NPO プラザ管理職ミーティングを随時開催

4. 組織の広報及び理解促進

(1) ホームページや SNS を活用した情報発信

情報発信については、杜の伝言板ゆるるのホームページ (<http://www.yururu.com/>) 及び Facebook を活用し、組織の情報公開を進めた。

ホームページ／お知らせ 21 件	Facebook 投稿 85 件
------------------	------------------

(2) 「季刊ゆるる」の発行事業

2019 年 11 月にゆるる理事の執筆により「季刊ゆるる」を創刊し、2020 年度は、No.3 2020 春号（5 月 31 日）、No.4 2020 夏号（8 月 31 日）、No.5 2020 秋号（11 月 30 日）を発刊した。

仕 様：A4 版 フルカラー 8 頁
 発 行 部 数：毎号 1,000 部
 配 布 先：法人正会員、賛助会員のほか、約 213 か所
 （県内公共施設、県内及び県外支援センター、他）

掲載内容

	執筆者	記事
No.3 2020 春号	大久保 朝江	23 年間の活動に感謝
	大久保 朝江	NPO の風に乗って広がった世界
	石田 祐	「新型コロナウイルス拡大防止対策下における NPO の存続危機と雇用維持に対する支援に関する緊急要望書」の提出と調査結果の報告
	堀川 晴代	コロナ禍、みやぎ NPO プラザの取組み
	熊谷 智美	【セルフケア 第 3 回】分解して、仕分けて、不要なものは捨ててしまおう！
	波多野 卓司	【人と経営 第 3 回】支援するということ
	真壁 さおり	【お酒上手 第 3 回】「遠隔酒」
No.4 2020 夏号	石田 祐	事業継承の課題と新たな体制づくり
	岡田 彩	新聞記事から見るコロナ禍の市民社会
	渡邊 桂子	市民活動を考える：NPO と新型コロナウイルス
	熊谷 智美	【セルフケア 第 4 回】自分を知ろう 相手を知ろう 自分を知ってもらおう！
	波多野 卓司	【人と経営 第 4 回】“居場所をつくる”という営み
	高浦 康有	NPO を取り巻く経営環境① リモートワークにともなう孤独感
	堀川 晴代	コロナ禍、みやぎ NPO プラザの近況
No.5 2020 秋号	真壁 さおり	【お酒上手 第 4 回】「吊い酒」
	石田 祐	市民社会の継続と NPO 理解の浸透 ～ボランティアアクション！～
	岡田 彩	「夏ボラ」に参加した高校生の「その後」
	渡邊 桂子	市民活動を考える
	熊谷 智美	【セルフケア 第 5 回】とりあえず、大きく息を吐こう ため息をつくなら徹底的に！

	高浦 康有	NPO を取り巻く経営環境② エssenシャルワーカーの待遇改善のために
	波多野 卓司	【人と経営 第5回】揺れながら、迷いながら
	堀川 晴代	ゆるるとボランティア
	真壁 さおり	【お酒上手 第5回】「忘年酒」

5. 会員

正会員 32 団体・個人

賛助会員 61 団体・個人 (2021 年 5 月 15 日現在)

6. 事務局員体制 (2021 年 5 月 15 日現在)

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局 (宮城野区榴岡 3-11-6)

常勤職員 1 名、非常勤職員 2 名

(2) みやぎ NPO プラザ勤務 (宮城野区榴ヶ岡 5)

館長 : 1 名

常勤職員 : 5 名 (運営スタッフ 4 名・情報担当 1 名) 非常勤職員 : 2 名

7. ボランティア

総時間数 : 下記の通り (昨年度はのべ 251.5 時間、のべ 88 人)

	事務局	One to One 発送	みやぎ NPO プラザ		
			データ 入力	事務 サポート	NPO フォーラム
時間	94.5	40.5	53.5	0	3.5
人数	37	20	16	0	1

※のべ総時間数 : 192 時間 / のべ総人数 : 74 人

8. 寄付

真如苑からの 500,000 円や 6 個人/団体からの寄付を合わせて 72,228 円の寄付を頂いた。
 この中には、イオン仙台店のイエローレシートキャンペーンで 55,228 円のギフトカードが含まれている。寄付金等は夏ボラ体験の活動をはじめ、季刊ゆるるの発行などに使用した。

9. 職員研修

業務上必要なスキルを習得するため、内外の研修に参加した。研修は、みやぎ NPO プラザでの NPO に関する講座や事務局事業の講座で 37 回、延べ 62 人の職員が学んだ。

研修日	研修名	研修場所	主催団体	参加数
5 月 1 日	チラシやポスター等のデザインについて学ぶ	ウェブ会議システム「Zoom」	NPO 法人 まちづくりスポット仙台	2 名
5 月 28 日	NPO のための会計初級オンライン講座	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県 (みやぎ NPO プラザ)	1 名
6 月 16 日	NPO のための雇用調整助成金申請オンラインセミナー	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県 (みやぎ NPO プラザ)	1 名
7 月 2 日	OJT だけでは身に付かない！NPO 基礎力が育つ「新任スタッフ研修」	ウェブ会議システム「Zoom」	NPO 法人 NPO サポートセンター	1 名
7 月 21 日	第 2 回コミュニティマネジメントカフェ 緊急事態宣言明けの「ミーティング」と「イベント」をどうするか？	ウェブ会議システム「Zoom」	NPO 法人 CR ファクトリー	1 名
7 月 22 日	みやぎ NPO プラザの支援対象 (内部研修)	みやぎ NPO プラザ	みやぎ NPO プラザ	2 名
7 月 28 日	目の前の人の本当のニーズをしっかりとつかむ 心を支える・心を育てる 聴くチカラとファシリテーション	オンラインシステム	NPO 法人 NPO サポートセンター	7 名
8 月 20 日	NPO の知らせる力プロジェクト プロのジャーナリストに学ぶ書き手講座～東日本大震災と「今」を伝えるために～ (第 1 回)	ウェブ会議システム「Zoom」	Yahoo! 基金	1 名
8 月 21 日	認定 NPO 法人入門クラス「申請の段取りと準備」	ウェブ会議システム「Zoom」	認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会	1 名
9 月 2 日	にいがた NPO カレッジ「NPO 会計入門」	ウェブ会議システム「Zoom」	新潟県県民生活課	1 名
9 月 4 日、 9 月 16 日	NPO 支援センター初任者研修会 2020	ウェブ会議システム「Zoom」	認定 NPO 法人日本 NPO センター	2 名
9 月 8 日	NPO の知らせる力プロジェクト プロのジャーナリストに学ぶ書き手講座～東日本大震災と「今」を伝えるために～ (第 2 回)	ウェブ会議システム「Zoom」	Yahoo! 基金	1 名
9 月 18 日	「2 分で伝わる活動紹介」動画制作講座	ウェブ会議システム「Zoom」	Yahoo! 基金	1 名
9 月 24 日	助成金申請のコツ講座	みやぎ NPO プラザ	宮城県 (みやぎ NPO プラザ)	1 名
9 月 28 日	令和 2 年度ボランティア・市民活動ネットワーク会議 (第 1 回) 「目からウロコ～めっちゃ楽しい NPO 活動・まちづくり・ボランティア活動～」	仙台市福祉プラザ	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会仙台市ボランティアセンター	1 名
10 月 5 日 ～10 月 19 日	NPO 事業継承サミット 2020 世代交代から考える NPO のモデルチェンジとソーシャルセクターの未来	オンデマンド方式	NPO 法人 NPO サポートセンター	1 名
10 月 13 日	知らせる力プロジェクト「選抜講座」基礎学習	ウェブ会議システム「Zoom」	Yahoo! 基金	1 名
10 月 22 日	令和 2 年度ボランティア・市民活動ネットワーク会議 (第 2 回) 「目からウロコ～アイデアを事業化する楽しいテクニック～」	仙台市福祉プラザ	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会仙台市ボランティアセンター	1 名

10月30日	NPO 支援の力を磨く！組織基盤強化サポート研修（第1回）	ウェブ会議システム「Zoom」	パナソニック株式会社、認定 NPO 法人日本 NPO センター	1名
11月6日	認定 NPO 法人申請講座	みやぎ NPO プラザ	宮城県（みやぎ NPO プラザ）	1名
11月9日	NPO 支援の力を磨く！組織基盤強化サポート研修（第2回）	ウェブ会議システム「Zoom」	パナソニック株式会社、認定 NPO 法人日本 NPO センター	1名
11月13日	「一般社団法人」について知ろう ～その制度とガバナンス・責任ある運営のために～	ウェブ会議システム「Zoom」	公益財団法人ひょうごコミュニティ財団	1名
12月8日	NPO 支援の力を磨く！組織基盤強化サポート研修（第3回）	ウェブ会議システム「Zoom」	パナソニック株式会社、認定 NPO 法人日本 NPO センター	1名
12月10日	NPO 法人会計基準策定10周年記念行事 ～歴史秘話 基準誕生の頃の話をお聴く夕べ～	ウェブ会議システム「Zoom」	NPO 法人会計基準協議会	1名
12月8日	普通救命講習 I	文化財課分室	文化財課分室	1名
1月14日	NPO 支援の力を磨く！組織基盤強化サポート研修（第4回）	ウェブ会議システム「Zoom」	パナソニック株式会社、認定 NPO 法人日本 NPO センター	1名
1月19日	第1回みやぎ地域協働・人材支援システム研究会 ～震災後、県内で展開されてきた住民自治への支援活動の事例共有・意見交換～	ウェブ会議システム「Zoom」	一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム	1名
1月20日	NPO 会計オンライン・セミナー ～会計基準や日常の会計処理を学ぼう～	ウェブ会議システム「Zoom」	NPO 法人会計基準協議会	1名
1月22日	令和2年度 NPO 支援センター研修「思いをつなぎ、輪を広げる NPO 支援とは」	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県（みやぎ NPO プラザ）	3名
1月27日	NPO 法人や市民活動団体のためのクラウドファンディング	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県（みやぎ NPO プラザ）	1名
2月10日	第3回みやぎ地域協働・人材支援システム研究会 ～人材育成のあり方を見直す 震災モードから平時のしくみへ地域福祉分野における知見～	ウェブ会議システム「Zoom」	一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム	1名
2月19日	令和2年度市民活動講座 日々の会計と決算書作成のポイントを学ぼう！	ウェブ会議システム「Zoom」	名取市（名取市市民活動支援センター）	1名
2月25日、26日	令和2年度 NPO 支援施設フォローアップ事業委託業務人材育成研修「ポストコロナ時代の市民活動・NPO 支援のあり方を探る」	東北自治総合研修センター	宮城県	4名
3月18日	令和2年度宮城県 NPO 等の絆力を活かした復興支援事業 ～3.11 から10年、これからの地域での活動のあり方～	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県	5名
3月18日	令和2年度宮城県 NPO 等の絆力を活かした復興支援事業 ～これからの地域での活動と協働のあり方から～	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県	6名
3月24日	NPO 会計オンライン・セミナー ～会計基準や日常の会計処理を学ぼう～	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県	1名
3月24日	令和2年度プロボノ普及啓発セミナー スキルを活かしたボランティア「プロボノ」のはじめ方 ～日本カーシェアリング協会の取組～	ウェブ会議システム「Zoom」	宮城県環境生活部共同参画社会推進課	3名